

## 入塾時の審査について

### <医学部に合格する人と合格しない人の違い>

私たちは各生徒様全員を個別管理で全教科指導しており、またデータを毎年蓄積していますので、医学部に合格した人と合格しなかった人の違いの分析を毎年行っています。その中で、明確に否定できることと、現時点での仮説を記載します。

#### ・入塾時の成績

→関係ない。遅くとも秋になると成績は簡単に逆転が起こる。

#### ・在籍or卒業した高校（進学校、中高一貫、都立など）

→関係ない。進学校でもダメな人はいるし、進学校ではなくても成績を大きく伸ばして医学部に進学した卒業生はたくさんいる。

#### ・部活に所属している（していた）か

→関係ない。因果関係と相関関数を間違えている人は多い。

部活に所属した”から”成績も伸びるということは一切ない。”元々優秀な人だから部活も勉強もできる”というのが真。

優秀ではない人が部活をしていると勉強は悲惨なことになり、実際そういう現役生は非常に多い。

### \*現時点で正しいと思っている仮説

・成績を大きく伸ばす人はパーソナリティ的に優れていることが圧倒的に多い。

→逆にそれ以外の共通点はあまり見つからない。

### <毎年大きく成績を伸ばす生徒が存在>

例年、入塾時偏差値40台や、そもそも再受験生で全く初学だった人が1年で医学部に進学されています。

今年も成績優秀者の半数は入塾時の成績では上位に位置していません。（入塾時の成績とは、昨年度の最終模擬試験の成績です。その後今年度の最初の模擬試験までに大きくのびた人は複数います。）

### \*結論

入塾受付という観点では入塾時の成績ではなく、パーソナリティ的に優れている人を優先して受付します。

（ただし、成績を元に本人がどう考え反省ができているかが非常に重要であり、また成績をもとに課題方針の作成を行う必要があるため成績表の提出は求めます。）